あしのうら

マイムマイムとナニャドヤラ

マイムマイムを知る人は多い、踊りはもちろん歌と掛け声も覚えている方もいるかと。実は簡単な踊りのようでなかなか奥が深い。“マイム・ベサッソ”ーマイムとはイスラエル語で水、ベサッソは、うれしいの意味だとか。第二次世界大戦後、シオニズム運動でいまのイスラエルが建国され、世界各地に散り散りになっていたユダヤ人がパレスチナに集まってきた。言語もさまざまで、国づくりのため連帯を深める手段の一つとしてマイムマイムが創作されたと聞く。

井戸を掘って荒地を水で潤そう、踊りの輪を中心に向かって縮めていき、みんなで水をくむ動作を表現する。イスラエルのクリッド・カドマン女史が1963年にマイムマイムの振り付けを紹介してから、学校などに広く普及した。イスラエルと日本で、ほぼ同じ時代にマイムマイムが踊られはじめたことは興味深い。

日本のフォークダンスといえば盆踊りだろう。県南から岩手県北で踊られる盆踊り「ナニャドヤラ」は、何を歌っているのかよく分からず歌詞には諸説ある。一説にはヘブライ語説もあり、キリスト伝説がある新郷村では、6月に開かれるキリストまつりで「ナニャドヤラ」を踊る県内外の社中で大いに賑わう。伝説によると新郷村戸来の「ヘライ」はヘブライに由来、ゴルゴダで磔刑（たっけい）にされたのはイエスの弟のイスキリで、イエスは戸来で天寿を全うしたという。

キリスト伝説からすれば、ヘブライ由来のこの踊りは、約二千年も県南で伝承され続けていることになる。

ユダヤと日本に関する話は数多くあるが、私はフォークダンスでこじつけてみた。

（青森市　67歳　イザヤ・オドリダサン）

「てのひら」読んで 単位認定！

県民カレッジ学生の皆さんは、「てのひら」を読んで、所感を書くと、単位認定します。（1単位）

単位認定！

Sha-seの散歩道



撮影日　令和4年 4月 28日

お天気が良かったので中庭を歩いていたら、赤いつぼみと白い花。とってもめんこいりんごの花でした。秋の収穫まで様々な表情をみせてくれるりんごの木にスタッフは癒されます。

読者プレゼント

ミニチュア
縄文土器作りキット
1個

3名様

はがきに
①住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号②てのひらの入手場所③てのひらの感想を明記し、あおもり県民カレッジ事務局「読者プレゼント係」までお送りください。7/15（金）消印有効。
当選者については次号イニシャルで発表します。
（個人情報はプレゼント発送以外に利用することはありません。）



〈完成見本〉

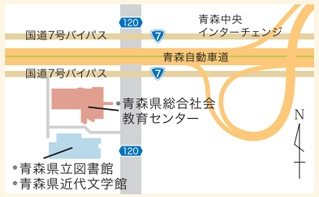
第77号プレゼント当選者発表
①カッパフェイスパック
T.Sさん（鹿角市）、K.Yさん（弘前市）
②青森県ご当地スタンド
Y.Jさん（青森市）、M.Tさん（むつ市）、K.Nさん（八戸市）
おめでとうございます！

編集後記

今回初めて「てのひら」に関わらせていただき、拙い文章ながらなんとか形にすることができました。ご協力いただいた取材先の皆様、ありがとうございました。読者の皆様の「行ってみたい！やってみたい！知りたい！見てみたい！」を引き出せる情報誌になるよう、尽力していきたいと思います。

新緑のさわやかな季節、たまには外に出て広い景色を楽しんでみてくださいね。小牧野遺跡、おススメです(*＾▽＾*)

編集・発行　あおもり県民カレッジ事務局
指定管理者　豊かな学びを育む青い森グループ
〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県総合社会教育センター
インフォメーションプラザあおい
電話：017-739-0900　FAX：017-739-2570
Mail：alis02@jomon.ne.jp
https://www.manabi-aomori.com



あおもり県民カレッジ

令和4年5月発行　次号は7月に発行します。

てのひら

てのひらサイズの できることからはじめよう

令和4年
第78号
6・7月

学びの種をまく
あおもり県民カレッジ





特集
p 2・3





p 2・3
● 特集
世界文化遺産／国指定史跡
小牧野遺跡

p 4・5
● 6・7月生涯学習講座情報

p 6・7
● 6・7月生涯学習講座情報
● 映画鑑賞会
● 館内展示
● ある日のお弁当

p 8
● Sha-seの散歩道
● あしのうら
● 読者プレゼント
● 編集後記

連携機関紹介

世界文化遺産／国指定史跡

小牧野遺跡（青森市）

こ　まき　の

● 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での講座は座席の間隔を空け、密にならないよう開催します。
● マスク着用の上お越しください。● 入室の際は検温・手指の消毒をお願いいたします。
● 当日体調がすぐれない方は入室をお断りすることがございます。ご了承ください。

あおもり県民カレッジって何？

身近な所で開催されている講座をはじめ、施設を見学したり、テレビやラジオの視聴、読書でも単位が取得できます。また申請すると単位数に応じて奨励賞などが授与されます。事務局では、皆さんの「知りたい」「学びたい」を応援します。

連携機関紹介

～遺跡からみえる縄文人のくらし～

世界文化遺産／国指定史跡　小牧野遺跡

直径55メートルにも及ぶ日本最大級の環状列石



縄文時代後期に作られ、葬送・祭祀にかかわる精神生活、土木工事の実態などを知る上で極めて貴重であることから、平成7年3月に国指定史跡となりました。その後、閉校した旧野沢小学校を改修し、平成27年に青森市小牧野遺跡保護センター/縄文の学び舎・小牧野館としてオープンしました。

令和3年7月には念願の世界文化遺産に登録され、北海道・北東北の縄文遺跡群の一つとして注目されています。

（小牧野遺跡ホームページより一部抜粋）

施設館長の竹中富之さんから、小牧野遺跡および関連施設についてご説明をいただきました。



石が縦横交互に規則性をもって並べられた特徴的な「小牧野式配列」

中央から3重の輪で構成され、一部4重となるこの環状列石に使われた石は、近くを流れる荒川から運ばれたと考えられています。
約2900個もの石を、当時の人々はどうやって川から運び、ここでどんなことが行われていたのでしょうか？

それをひもとくカギが縄文の学び舎・小牧野館に展示されています。



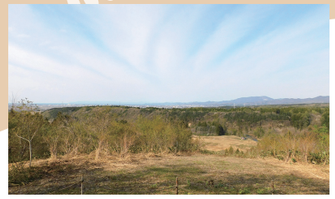
世界遺産
「北海道・北東北の縄文遺跡群」を
楽しく学ぶ**ウォークラリー開催中！**
館内のチェックポイントを探して
クイズに答えてみよう！

遺跡に隣接した青森市小牧野遺跡観察施設

小牧野の森・どんぐりの家

どんぐりの傘のような外観で、中で休憩ができます。近くの展望所からは陸奥湾や下北半島、津軽半島までもが一望でき、遺跡まで石を運んだとみられる荒川も見ることができる穴場的な場所です。重い石を運んだ縄文人に思いをはせ、晴れた日にぜひ眺めを楽しんでください。







▼遮光器土偶けん玉シャコケン



◀縄文の学び舎・小牧野館1階にあるミュージアムショップ。館長とスタッフが細部にまでこだわり開発したオリジナル商品は大人気で、入荷してもすぐに売れてしまう商品もあるそう。発売当初から話題になった遮光器土偶ニット帽は、職人が一人で手作りしていて、抽選販売を行うほどの人気です（抽選販売は現在終了しています）。令和3年10月には、遺跡に直接来られない人のためにオンラインショップも開設しました。（写真は竹中館長、人気商品を生み出すアイディアマン）



▲小牧野式配列のマスキングテープ



▲石を川から直線で500メートル離れた遺跡までどうやって運んだかの実験。環状列石に使われた石は、1個当たり平均約11kg、一番重い遺跡中央の石は、493kgにもなります。そりの使用や、一人または数人で担いで運んだのではないかとみられています。



◀小牧野遺跡ＰＲキャラクター「こまっくー」の原型になったクマ型土偶の一部（頭部）。当時クマは食料としてではなく、畏怖するものとして捉えられていたのかもしれません。



▲出土物を年代別に並べた、資料館では珍しい展示方法です。すべて本物の土器を展示しているのには驚きました。小牧野遺跡の時代のものが一番複雑で美しい模様であり、それ以降はだんだんシンプルになっていくのは興味深いですね。

縄文の学び舎・小牧野館

縄文の学び舎・小牧野館という名前は、小牧野遺跡だけではなく「縄文」そのものも学んでもらいたいという理由からつけられました。
小牧野遺跡のほかに、青森県内から出土した土器など縄文時代全体についての展示をしています。



▲小牧野遺跡から見つかった竪穴式住居は2つのみ。集落としてではなく、多方面に散らばって住む人々が、祭祀のため集う特別な場所だったと考えられています。この竪穴式住居は実際には8畳間ほどで、※シャーマンのような人が住んでいたのではないかとみられています。

※シャーマン：宗教的職能者



▲海が近く川と山に囲まれ、木の実、山菜、貝など食べ物は豊富にあり、冬は弓矢で狩りをしていました。硬い木の実を砕き、獣の肉を混ぜてハンバーグ状にし、熾火（おきび）で焼いて食べていたようです。



◀亡くなった子供の形見として、または親が子供の成長を願うために作ったのではないかとみられる手形。土偶は精霊ではという説や、病気の人の身代わりではないかともいわれています。







◀当時は屈葬（かがんだ形）で穴に入れ、土をかけて埋葬していました。特別な人物は、骨だけになったものを掘り出し、土器棺に入れて埋葬されていたようです。小牧野遺跡の土器棺は、遺跡の輪と輪の間から数個見つかり、他に100基ほど土盛りの墓（土抗墓）が見つかりました。矢が刺さっている人骨があまり見つかっていないことから、縄文時代はあまり格差がない平和な1万年であったと言われています。

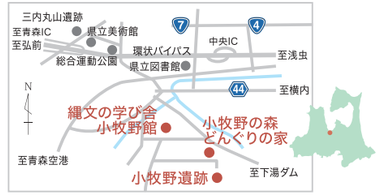
青森市小牧野遺跡保護センター
縄文の学び舎・小牧野館

場所　青森市大字野沢字沢部108番地3
TEL 017-757-8665
FAX 017-757-8670
開館時間　9:00～17:00
休館日　12月29日～翌年1月3日
入館料　無料
駐車場　あり

青森市小牧野遺跡観察施設
小牧野の森・どんぐりの家 ／ 小牧野遺跡

場所　青森市大字野沢字小牧野41番地
「縄文の学び舎・小牧野館」から車で約5分
開館時間　9:00～17:00（10月以降16:00まで）
休館日　11月16日～翌年4月30日（冬季閉鎖）
入館料　無料
駐車場　あり
ホームページ　https://komakinosite.jp

※ウイルス感染症の状況により変更する場合がございますので、ホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。



あおもり
県民カレッジを
楽しもう!

6月・7月 生涯学習講座情報

単位認定　講座、講演会、教室等…1時間につき1単位
見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位



これらの講座については中止・延期となる場合もございますので、事前に主催者までお問い合わせください。

東青地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
ちょもらんま Chomo◉lungma **本展のために構想してきた鬼をモチーフとした新作となるタペストリーを初公開します。** 入場無料	～6/26(日) 10:00～18:00 会期中無休	国際芸術センター青森 展示棟ギャラリーB棟	青森公立大学 国際芸術センター青森 TEL 017-764-5200
松本美枝子 具(つぶさ)にみる **写真家・美術家の松本美枝子氏が、青森で出会った人や土地から着想を得ながら制作した、写真作品や映像を発表します。** 入場無料	～6/19(日) 10:00～18:00 会期中無休	国際芸術センター青森 展示棟ギャラリーA棟	
令和4年度健康教室 **うつ病と適応障害** 講師:堀内 雅之(医療法人芙蓉会 芙蓉会病院 医師)	6/16(木) 13:00	アピオあおもり	青森市保健所 健康づくり推進課 TEL 017-718-2942
命をねらう歯周病～歯周病と全身疾患の関わり～ 講師:山本 明義(やまもと歯科 院長)	7/20(水) 13:00	中央市民センター	
さんまる速報展!2021 **2021年に実施した発掘調査の最新成果を紹介します。** 観覧料:一般410円、高校・大学生200円、中学生以下無料	～6/26(日) 9:00～18:00 (最終入館17:30)	三内丸山遺跡センター ギャラリー	三内丸山遺跡センター TEL 017-766-8282
縄文マジカル＋(プラス) **縄文人が一生の間に経験する儀礼やまつりなどに関連する出土品を通して縄文の心を紹介します。** 観覧料:一般900円、高校・大学生450円、中学生以下無料		三内丸山遺跡センター 企画展示室	
令和4年度 青森中央学院大学 公開講義「暮らしと地域」 **八甲田雪中行軍から学ぶ危機管理** 講師:間山 元喜(MM〈エムエム〉総合企画代表)	6/8(水) 13:00～14:20	青森中央学院大学 学術交流会館2階	青森中央学院大学 TEL 017-728-0131
ウクライナ・台湾問題とアオモリ 講師:斉藤 光政(東奥日報社編集局編集委員)	6/15(水) 13:00～14:20		
「食糧生産は国防だ!」と踏み込んだ世界で見えたもの 講師:美曽作 友紀子(南部ベース代表)	6/22(水) 13:00～14:20		
大正浪漫かほる宮越家離れと庭園の魅力 講師:齋藤 淳(中泊町博物館館長)	7/6(水) 13:00～14:20		
デジタル博物館ねぶたミュージアムについて 講師:林 広海(青森ねぶた制作者) 対象:一般市民　定員:60名　受講無料	7/13(水) 13:00～14:20		

西北地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
年長すくすくキャンプ **年長児の子どもたちが親元をはなれて自然の家に1泊し、冒険遊びや炊事などを通して、「ひとりだちの芽」を育むキャンプです。** 対象:年長児　定員:16名　募集期間:～6/8(水)	7/9(土)～10(日)	青森県立 梵珠少年自然の家	青森県立 梵珠少年自然の家 TEL 0173-29-3303
ファミリーキャンプ **テント設営やテント泊、野外炊事などキャンプに関するノウハウを学びながら、家族でサマーキャンプを体験できます。** 対象:親子・家族　定員:18家族　募集期間:6/20(月)～29(水)	7/23(土)～24(日)		
夏の7daysキャンプ **仲間とともに自転車と川下りで140kmを移動し、自分たちでテント泊や野外炊事などを行う真夏のキャンプです。** 対象:小学5年生～中学3年生　定員:20名 募集期間:6/13(月)～24(金)	8/6(土)～12(金)		

中南地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
春の企画展　武家のみやび **弘前藩主津軽家と藩士たちの暮らしを彩った文具・屏風などの調度品や書画を紹介します。** 観覧料:一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円	～7/3(日) 9:30～16:30 休館日:6/20(月)	高岡の森弘前藩歴史館	高岡の森弘前藩歴史館 TEL 0172-83-3110
歌川広重　二つの東海道五拾三次 **現存数の少ない保永堂版・丸清版を展示し、時代を席巻した浮世絵の魅力を紹介します。** 観覧料:一般800円、高校・大学生400円、小・中学生200円	～7/10(日) 9:30～16:30 会期中無休	弘前市立博物館	弘前市立博物館 TEL 0172-35-0700
Good!　Wood!@津軽こけし館 **木にこだわった春のイベントを開催します。** 1F 入場無料　2F 有料展示室 観覧料:一般320円、高校生270円、小・中学生160円	～6/26(日) 9:30～17:00 会期中無休	津軽こけし館	津軽こけし館 TEL 0172-54-8181
RYOJI　IKEDA　solo exhibition　池田 亮司 展 **2009年以来となる国内美術館での大規模な個展として、新作を含む近年の池田の活動を展観します。** 観覧料:一般1,300円、大学・専門学生1,000円、高校生以下無料	～8/28(日) 9:00～17:00 休館日:火曜日 ※8/2は(火)は開館	弘前れんが倉庫美術館	弘前れんが倉庫美術館 TEL 0172-32-8950

上北地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
名和晃平展 **彫刻家　名和晃平による十和田のために制作された最新作を公開します。** 観覧料:一般1,800円、高校生以下無料	6/18(土)～11/20(日) 9:00～17:00 (入場は閉館の30分前まで)	十和田市現代美術館	十和田市現代美術館 TEL 0176-20-1127
六ヶ所村立郷土館　企画展 **「郷土を拓いた人々」～六ヶ所村の開拓の歴史と写真展～** **開拓の歴史のパネル展示や当時の生活の様子を伝える写真等を展示します。** 入館無料	～6/19(日) 9:00～16:00 休館日:月曜日 (祝日の場合はその翌日)	六ヶ所村立郷土館	六ヶ所村立郷土館 TEL 0175-72-2306

三八地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
ジャイアント食堂 **八戸市美術館で1日中まきおこる、食と音楽とパフォーマンスのイベント!** 予約不要(出入り自由)　入場無料	6/25(土) 8:00～21:00	八戸市美術館	八戸市美術館 TEL 0178-45-8338
介護予防教室「脳いきいき教室」 **現在の認知機能を知り、元気なうちから認知症予防を考えてみませんか?** 参加無料　持ち物:筆記用具・めがね(必要な方)・飲み物	6/20(月) 13:15～15:00 (受付は15分前～)	八戸市総合保健 センター2階 介護予防センター	介護予防センター TEL 0178-38-0726
介護予防教室「体いきいき教室」 **ロコモ度テストで今の自分の体の状態を知り、運動や食事についての講話を聴きましょう。** 参加無料　持ち物:筆記用具・めがね(必要な方)・飲み物	7/11(月) 13:15～15:00 (受付は15分前～)		
根城おもしろ講座(歴史講演会) **「奥羽仕置と南部氏」** 講師:熊谷 隆次(八戸市文化財審議委員) 対象:一般　定員:30名　参加無料	6/5(日) 10:00～12:00	八戸市史跡根城の広場	八戸市史跡根城の広場 TEL 0178-41-1726
「豊臣政権の奥羽再仕置」 講師:柴 裕之(東洋大学文学部非常勤講師) 対象:一般　定員:30名　参加無料	7/10(日) 10:00～12:00		
根城おもしろ講座(体験学習講座) **「広場の押し葉で軍配団扇」** 講師:在家 渓静(くるみのひろば) 対象:小学生以上　定員:15名　材料代:800円	7/17(日) 10:00～12:00		
「桜染め体験～広場のしだれ桜で染めよう～」 講師:根城の広場職員 対象:小学生以上　定員:各10名　参加無料	7/24(日) 午前の部 11:00～12:00 午後の部 14:00～15:00		

※連携機関のみなさまへ…講座やイベントの情報がございましたら、事務局までお寄せください。

あおもり
県民カレッジを
楽しもう!

6月・7月 生涯学習講座情報

単位認定　講座、講演会、教室等…1時間につき1単位
見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

下北地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
第40回市民ニュースポーツ体験DAY「めざせ！みんなで元気アップ！あそびの日 2022！」 **コミュニケーションの場としてニュースポーツを体験し、明るく・元気で・爽やかな気持ちで豊かな地域社会づくりに貢献するものです。**	6/11(土)9:30～11:30 (受付9:00～)	むつ市 しもきた克雪ドーム	むつ・下北地区 レクリエーション協会 TEL 0175-22-6912
むつ来さまい館スペシャルジャズライブ「MALTAジャズカルテット」 **ジャズプレイヤーMALTAのジャズライブをお楽しみください。** (※3/25に予定していた公演の振替公演)　定員:80名(予定)　予約者優先 料金:予約有 一般2,500円(当日3,000円) 予約有 高校生以下2,000円(当日2,500円)	6/10(金) 19:00～(開場18:30)	むつ来さまい館 イベントホール	むつ来さまい館 TEL 0175-33-8191

地域キャンパス講座　県内6地区で開催

地域色豊かな講座や専門的な講座を開催し学習の機会を提供します。あおもり県民カレッジ学友会や市町村等と協力・連携しながら県内6地区で開催。

地域	講座名/講師	内容 他	日時	定員	開催場所
青森市	**糸掛け曼荼羅の世界へようこそ！** 講師:渡部 靖之	糸掛け曼荼羅で最も重要な要素は「糸の色」です。全体のバランスを考えながらも、その時の気持ち、気分によって糸を選んでいきます。世界に一つの作品をつくりましょう 材料費:1000円 持ち物:金づち、糸切ばさみ、ラジオペンチ(なくても可)	6/24(金) 10:00～12:00	10人 (要申込/先着順)	青森県総合社会教育センター　第6研修室
青森市	**親子で学ぶSDGs ～水産資源の管理～** 講師:久保 真司(浅虫水族館)	海、川、湖など水辺に関わる環境問題として、「水産資源の管理」を入り口にSDGsについて学び、豊かな地球を未来の世代に引き継いでいくため、今、私たち一人ひとりに何ができるのかを考える講座　(入館料:高校生以上930円、小中学生460円 ※団体料金適用)	7/17(日) 10:30～11:20	10組20名 一般、小学4年生以上で保護者同伴 (要申込/先着順)	青森県営浅虫水族館 2階展示ホールおよび研修室
むつ市	**一緒に学ぼう聴くことの大切さ <家族編>** 講師:藤林 誠治 (車イスの生活相談員) 藤林 佳代子 (介護支援専門員)	良好な人間関係を築く上で、とても大事な「傾聴力」。だけど家族間ではつい後回しになりがち。パートナーの話しや子供の話しに、耳と心を傾けながら聞くコツとヒントを、一緒に学ぶ講座	7/24(日) 11:00～12:00	30人 (要申込/先着順)	むつ市立図書館 1F会議室
八戸市	**健康講座 「たくさん笑って 全身スッキリ運動」** 講師:齊藤 由美子 (フィットネスインストラクター)	身体を動かすことで脳を活性化する体操(シナプソロジー)で全身を存分に動かして、たくさん笑ってスッキリしましょう	7/21(木) 13:30～15:30	40人 (要申込/先着順)	八戸ポータル ミュージアムはっちシアター2

ボランティア自主講座　県総合社会教育センターにて開催

※受講無料・要申込　講座によって材料費が必要となります。

あおもり県民カレッジでは、県総合社会教育センターを利用して、一般の方でも特技や知識を活かし"ボランティア講師"として講座にチャレンジできる「ボランティア自主講座」を随時開催しています。詳しくはお問い合わせください。

講座名/講師	内容 他	日時	定員
免疫力アップ！ ウォーキング講座 講師:渋谷 清光	**スピードウォーキング(速歩)＆カジュアルウォーキング(普段歩き)の実践と健康ミニ講座** 持ち物:飲み物、汗拭きタオル　※動きやすい服装でお越しください。	6/10(金)・24(金) 7/8(金)・22(金) 10:30～11:30	15人
遠州流茶道講座 講師:柴田 宗桃	**遠州派の流派に沿って、基本のお点前で、薄茶、濃茶のお点前を学びます。** 材料費:500円 持ち物:ふくさ、扇子、懐紙、ようじ (貸し出し可。お申し込みの際にお知らせください。)	6/16(木) 7/21(木) 13:00～16:00	15人
コンテナガーデン講座 講師:桜庭 るみ子	**①初夏のお花の寄せ植え　②夏の暑さに強いお花の寄せ植え** 材料費:1,200円【植物苗3～5ポット】※鉢(直径30㎝くらい)持参の方は1,100円 持ち物:エプロン、ゴム手袋、シャベル、持ち帰り用袋	①6/12(日) ②7/3(日) 10:30～12:00	10人
アンガーマネジメント 怒りとうまくつきあう講座 講師:町屋 宗邦	**怒りに対する対処法(アンガーマネジメントのテクニック)を一緒に考えていきます。** 持ち物:筆記用具	6/18(土) 13:00～14:30	15人
温泉は大地からの あたたか～い贈り物講座 講師:下池 康一	**温泉の歴史、青森県内の温泉にまつわる伝説などを解説します。**	6/18(土) 14:00～15:30	20人
アロマヨガ講座 講師:塩崎 雅子	**「リンパストレッチ・リンパマッサージ・ツボ押し・アロマの効能」4つの相乗効果で巡りの良い健康美を目指しましょう。初めての方でも気軽に楽しんでいただける内容です。** 材料費:600円　持ち物:ヨガマット、飲み物、小皿(直径8㎝くらい)、タオル(膝から下が乗せられる大きさのもの)	6/14(火) 7/12(火) 10:00～11:00	10人

映画鑑賞会のお知らせ

6/18(土)　グレン・ミラー物語
(1954年 アメリカ 112分) 日本語字幕で上映
ジャズミュージシャン、グレン・ミラーの半生を描く



7/16(土)　紅い襷
(2017年 日本 100分)
若き女性たちの活躍が新たな産業の扉をひらく感動の物語



青森県総合社会教育センター 2階大研修室
開演13:30～(開場13:00)
定員150名　申込不要　入場無料

展示「糸掛け曼荼羅の世界へようこそ！」渡部靖之



6/3(金)～7/30(土)9:00～18:00
青森県総合社会教育センター
階段ギャラリー
※6/27(月)、7/25(月)は休所日

2016年、ネットで初めて糸掛け曼荼羅を知り、見よう見まねで作ってみる。すぐにその魅力にはまり、様々なサイズの作品を制作。その数100点以上にのぼる。

ある日のお弁当

毎日お弁当を作るようになって早いもので2か月。
初めてじっくり時間をかけて作りました。
ゆで卵は、「子育てコーチング講座」で教えていただいた「マリオのヨッシー卵」。色はきゅうりとカニカマ。
丸がもう少し大きければよかったかな？と反省。
ウインナーの楊枝はお気に入りのねこちゃん。
とりそぼろと炒り卵は上手にできました。
来春からは子供の分が増え、お弁当が3つに…
レパートリーを増やさないと。

まっきー



information

青森県総合社会教育センター
指定管理者 自主事業

大学公開講座　知能向上セミナー

「リスク時代を生き抜くための危機管理」
～最悪に備えたリスク・マネジメントの在り方～

講師:大泉 常長
(青森中央学院大学学長補佐、経営法学部 教授)

グローバル化の進展により、国境を越えて私たちの生活に影響を与えている「感染症」や「自然災害」これらのリスクに立ち向かう危機管理について解説。

7/2(土)13:30～15:00
定員:30名
青森県総合社会教育センター
2階　第6研修室



作品展「水無月」　平井潤治　寺田博　八木橋精三　竹林嘉子





6/1(水)～29(水)9:00～18:00
青森県総合社会教育センター
2階ギャラリースペース「画伯のたまご」
※6/27(月)は休所日

自分で作った作品でありながら仕舞い込んで、めったに見る事のない旧作を飾ってみたいと思いました。そこには進歩の足跡、初々しい感動があり、さらなる制作へのエネルギーが充ちてくるはずです。美しい季節、水無月、四人の競演をお楽しみ下さい。